



選定経過等を発表する尾崎弘明委員長

養父市のシンボル 「市花・市木」が決定

養父市のシンボルとなる「市花」

「市木」は、市内に自生し市民になじみ深く親しまれている花と木を対象に募集を行い、市花に127人、市木に121人の方から応募がありました。

それぞれに応募された方の中から抽選により、次のみなさんに記念品が贈呈されました。

▼市花の部／坂本善明さん(大屋町宮本)、下山公夫さん(愛知県)、高階瀧宏さん(上野)、上垣巖さん(大屋町中間)、谷逸子さん(八鹿町八鹿)
▼市木の部／田村実有さん(新津)、中村寛さん(葛畑)、加藤朋子さん(大屋町加保)、井垣智志さん(八鹿町宿南)、上坂あい子さん(八鹿町八鹿)

市花 「ミズバショウ」

自生地の大屋町加保は、ミズバショウの自生地日本南西限です。

清らかな湿地帯である同地には、4月下旬から5月上旬にかけてミズバショウが白い花を咲かせます。

清らかな水がある湿地帯にしか育たないミズバショウのイメージと養父市の進める「自然を大切にすまちづくり」が合ったことから選定されました。



市木 「ブナ」



養父市内でのおもな自生地は、兵庫県内最高峰の氷ノ山周辺です。

ブナは、落ち葉が腐葉土となって土を豊かにし、生態系の維持に欠かせない植物でもあり、人の命を育む木とされています。

土を豊かにし、保水力を高めて生命と環境を守るブナに、安全で安心して暮らせる自然豊かな市への願いを込めて選定されました。